

松江市観光グッドウィルガイド連絡会 (MGG) について

平成 21 年 1 月 27 日

MGG 常松 窈子

「発表事項」

1、団体の概要について — ボランティアガイド組織

会員数 35 名

対応言語 英語

MGG 発足から 21 年目 1987 年発足

1996 年「第 5 全国善意通訳全国大会」松江大会開催

2003 年「第 7 回全国外国語案内全国大会」松江大会開催

最初は外国語の出来る市民が同好会の形で外国人に対応していましたが 1987 年に組織として立ちあげられました。

MGG に入会希望者は 6 回の研修（ガイドのためのマニュアルあり）をクリアした人を会員として受け入れています。

2、活動概要について

松江を訪れる外国人に“おもてなしの心”と“暖かい友情”で対応に心がけています。

* 活動内容

年間 6 回の研修（実施研修、実地研修）を外国人講師、日本人講師を招いて研修。

松江城ガイドのため 10 年前より 3 月～11 月の土曜、日曜に 10:00～16:00 まで常駐して案内。

ガイドの受け入れは、電話、FAX、メール等で直接 MGG の方へまた、松江市観光課、観光協会、観光案内所等を通してのガイド依頼を受け入れています。

コンベンション（くにびきメッセ）からの依頼に依る国際学会、国際会議などの受付業務やエクスカージョンへの対応。（年々増える傾向にある。）

* 活動場所

松江市は城下町なので松江城がメインになっています。松江市内はもとより出雲市、出雲大社、出雲古代歴史博物館、石見銀山（世界遺産）其の他。

アメリカからのエルダーホステルのグループ（35 名前後）が年 2 回、国際観光都市である京都、奈良、松江へ日本文化の研修と観光に来日されます。松江市内の案内と市民との交流の際のテーブル通訳を行なっています。

「島根県ふるさと案内人」に殆どの会員が登録。

* 活動資金

松江市、観光協会、商工会議所、コンベンション及び島根県から研修費に関して助成金、委託金を受けています。

会員より年会費として 1 人 2,000 円を徴収。

3、日頃の活動に関する課題

- : 松江は観光地としてはアクセスが悪いので松江を目指して来る方が少ない。
- : ボランティア組織であるのでボランティアという言葉優先を優先させて無理をしてまで活動に参加しない会員もあり、ガイド依頼の対応に窮することもあります。特に観光客の多い9月、10月、11月は対応が困難な場合もあります。会員は主婦が多いこともあるので仕方がないことかも知れません。
- : MGGは現在、英語のみの対応しか出来ないため中国語、韓国語での対応が出来るように研修していきたいと考えています。

3、通訳案内士に関して

此の度の懇談会で通訳案内士の方達のお話を詳しく聞かせていただき勉強させていただきました。

松江にも案内士の資格を持った方が数人おられるのですが苦勞して勉強されたのに力を発揮する場所が無いと言われます。私達ボランティアの組織が存在するのでプロの出番が無いと言われてたりもします。でも過去に於いて学会でMGGの2人の会員がブースの中で同時通訳をされましたけど、結果はとても悲惨なものでした。

やはり同時通訳などはプロの方がされるべきであると痛感しました。

それ以後は学会、国際会議には専属の通訳の方を連れてこられるようになりました。ボランティアには限界があり、そこにはプロとボランティアでは全く合入れないものがあるのではないのでしょうか。やはり違った言語で国同士のコミュニケーションということになると、日本の顔として通訳案内士の方が不可欠だと思っています。

4、その他

近年は帰国子女の会員の方が多く、語学に関する問題は、少なくともボランティアでガイドをする限りでは殆どありません。

私達MGGは“出来る人が、出来る時に、出来る事を”をモットーに、私達の身の丈に合った対応を心掛けています。松江を訪れた人達が「松江を訪れて良かった。」と感じていただき、再度松江を家族や友人と訪ねてみたいと思っただけならば幸せだと思っています。

私達は世界の何処の国の方とでも、暖かい気持ちで向かい合っていくことが、ボランティア活動の真髓だと考えています。

* ご参考までに MGG でのガイド実績 *

: 平成 18 年度	外国人	1765 人	ガイド人数	75 名
松江城ガイド	外国人	386 人	ガイド人数	109 名
: 平成 19 年度	外国人	428 人	ガイド人数	38 名
松江城ガイド	外国人	446 人	ガイド人数	120 名

以上